

学生献血推進ボランティアとは？



全国学生献血推進実行委員会
委員長 吉田 那沙さん

大学・短期大学・専門学校などに通っている学生で構成されており、若者に献血の大切さを伝え、献血に協力してもらうために、全国各地で活動しているボランティアです。

学生献血推進ボランティアってどんなことをするの？

より多くの方に献血に協力していただくため、街頭での呼びかけや献血キャンペーンの企画・運営・実施などを行っています。最近では、SNSでの発信にも力を入れています。(Twitter、Instagram、Tik Tokなど、様々なSNSで発信しているので、ぜひチェックしてみてくださいね！)



ボランティアを始めたきっかけは？

私が初めて献血ルームに行ったのは、16歳の誕生日でした。16歳から献血ができるようになって知って、記念に行ってみたのがきっかけです。そして、献血に通ううちに、学生献血推進ボランティアの存在を知りました。その後、大学生になって時間に余裕ができ、誰かの役に立てることをしたいなあと考えたときに、学生献血ボランティアのことを思い出して、参加してみることにしました。みなさんも、学生献血推進ボランティアに興味をもってけると嬉しいです。



やりがいを感じる時は？

私は、学生献血推進ボランティアの活動を通して、血液事業が多くの人の努力によって成り立っているということを知りました。たくさんの方が繋いでいるいのちのバトンに、自分も関わっていることがとても嬉しく、やりがいを感じています。また、活動を通して目にする機会が増えた、輸血を受けた患者さんからのメッセージはとても励みになっています。



高校生にメッセージをお願いします！！

献血は、16歳からできて気軽に困っている人の命を救うことができるボランティアです。献血できる人は、少し勇気を出して、挑戦してみてください。また、献血を広めることも、輸血を必要とする患者さんを救う立派なボランティアです。ご家族やお友達など、周りの人に献血の大切さを伝え、献血をすすめてみてください。

